

こどもサポートルーム アクア 児童発達支援自己評価票

		チェック項目	評価	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員かが指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	設置基準等につきましては、関係法律に基づいて、適切に運営を行っております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	配置基準につきましても、関係法律に基づいて、適切に人員配置を行っております。また、職員は全員、常勤・正社員として勤務しておりますので、毎日、同じスタッフが配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	△	玄関等はバリアフリー化はできていませんが、機能訓練室等はバリアフリーに対応しております。車椅子の方などにつきましては、事前に見学の上ご利用をお願いしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	業務改善につきましては、代表や管理者を含めて、全職員で話し合いの機会を持っています。また、職員が改善提案しやすいように心がけています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	今回の自己評価表作成を踏まえて、保護者の皆様にも、アンケート調査をお願いしています。今回より、ウェブでの回答もできるようにしており、皆様のご意向を積極的に汲み取っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	自己評価票の結果につきましては、事業所のホームページで公開を行っております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	苦情受付の第三者委員等による外部からの意見やアドバイスをいただくことで、適切な運営を行うように取り組んでいます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	定期的に社内研修を行っており、職員の意識や支援技術向上を図っております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	児童発達支援管理責任者を中心として、すべての職員が参加した会議を開催し、適切なアセスメント、保護者のニーズに基づいた計画の作成を行っております。
	⑩	子どもたちの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	事業所で規定した、アセスメントシートに基づく評価を行っております。また、日頃の記録を適切に残していくための記録システムの導入も行っております。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○	当事業所の特性上、放課後等デイサービスに向けての環境適応を中心に据えて支援を行っております。保護者のニーズ等を聞き取りながら、適切な支援を心がけています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	児童発達支援計画に基づいて支援を行っております。

適切な支援の提供	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	その時々のごどもたちの状況に応じて、職員全員が話し合いに参加して課題設定や目標設定に基づく活動プログラムを行っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	活動については、定期的に行いたい活動や、季節やその時々にあわせた活動を行うように心がけています。最近では、ごどもたちひとりひとりの課題に応じた活動を行うことも心がけています。
	⑮	ごどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	子どもそれぞれの状況に合わせて、個別支援計画の作成を行っており、支援内容も個別に応じて設定を行っています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容な役割分担について確認しているか	○	毎朝、朝礼を行い支援の振り返りや今後の支援についてすべてのスタッフで共有を行っています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	打ち合わせはもとより、平成30年9月より、ウェブベースによる最新記録システムを導入することで、すべての職員が記録にアクセスして気軽に情報共有を行うことが可能となりました。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	当事業所は、職員のそれぞれの見立てを重視するため、担当制ではなく、輪番で記録を行っており、様々な視点での記録を残すようにしています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	個別支援計画の作成に関しては、原則、すべての職員が参加したケース会議を行った上で、モニタリング、個別支援計画の作成が行われます。その都度、保護者の意見を聞き取り、反映させています。
関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのごどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	原則、事業所内での子どもたちを把握している職員が参加します。すべての職員が、専門的視点を持って会議に参加できるような体制作りに取り組んでいます。
	㉑	母子保健やごども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行なっているか	○	必要に応じて、関係機関との連携を図るようにしています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	△	医療的ケアもしくは重度心身障害のあるごどもをお預かりした実績はありませんが、必要に応じて関係機関と連携した支援を行うようにしています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	△	現在、医療的なケアの必要なお子様をお預かりしていません。ただし、必要に応じて主治医の先生との密な連絡体制をとるよう心がけています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	当事業所は、児童発達支援事業を多機能で行っているため、就学前からの関わりもあるお子様については、必要に応じて幼稚園等に出向いて情報共有を行います。

機関や保護者との連携	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向け得た支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	当事業所を利用するお子様は全員、放課後等デイサービスに移行することから、就学後に教育機関といった関係機関と連携を図りながら、率先して協力していくようにしています。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	△	実績はまだありませんが、地区を担当する発達障害者支援センターや児童発達支援センター等の専門機関との面識は常に維持するようにしています。
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	定期的な課外活動やイベントを行うことで、子どもたちが地域に出向き、大人や子どもたちとの接点をもつ機会を提供できるようにしています。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加している	△	参加依頼があれば、積極的に関わりを持つようにこころがけていますが、現在は、参加要請等もなく実績はありません。
	②⑨	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	こどもの状況については、送迎時に直接職員からや、連絡帳を通してや、別途、面談や訪問等を行うことで、課題や今後の支援方針などをお伝えするようにしています。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	○	原則、医療機関や療育施設等に通う子どもが多いので、その役割は専門的機関にお願いをしていますが、必要に応じて保護者と一緒に支援の方針を考えており、相談体制をつくっています。
	③⑪	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	○	契約時には、できる限り詳しく説明を行うようにしています。また、普段からシンプルな運営を心がけ、難しい説明を行わなくてもよいサービス提供体制を行っています。
保護者への説明責任	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、お子様の成長を考えた支援計画の作成を行い、同意を得るようにしています。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	○	相談については、面談や電話、メールなどを駆使し、時間外も含めて対応を行っています。必要に応じて、適切な支援機関や支援者におつなぎします。
	③⑭	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者も参加できるイベントを開催したりすることで、保護者同士の接点をつくるようにしています。また、親の会などへの協力も行っています。
	③⑮	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	これまでの運営上の経験を踏まえ、苦情体制については第三者委員も含めて細やかな整備を行っています。顧問弁護士による法的な対応体制も構築しています。
	③⑯	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	月の予定については、事前にご案内を行っています。連絡帳アプリの導入により、事前の詳細なご案内や、実際の活動の様子をお伝えするようにしています。

等	③⑦	個人情報に十分注意しているか	○	個人情報につきましては、法律に基づいて適切に運用を行っています。契約時には、個人情報（画像等を含む）をどこまでオープンにするかといった同意書への署名をお願いしています。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	その子どもの特性に合わせた伝え方を心がけていますが、まだまだ不足している面があるかもしれませんので、今後も積極的に取り組んでいきます。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	×	まだ地域住民を招待した実績はありませんが、こちらから地域の行事に出向くような機会を増やしていければと思っています。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルの作成を行っております。職員はいつでも見ることができるようしております。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、防犯マニュアルの作成を行っております。今後、内容を含めて周知を行ってまいります。
	④⑫	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	避難場所、避難経路の確認、災害時の対応などは、職員間でマニュアルを通して把握しています。訓練については、緊急時対応マニュアルに即して行っています。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	児童発達支援として、アレルギー疾患によるアナフィラキシーの可能性のある子どもをお預かりした実績はありませんが、必要に応じて主治医による対応方法の説明、確認を行うようにしています。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット事例を作成、集約しており、研修等で利用を行っています。特に、アクアではインシデントに対する意識の向上を図っており、事例を積み上げていきます。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	○	虐待防止研修は、全体研修の中で定期的に行っています。昨年度も、虐待の可能性も視野にいれた相談を行政等と行っています。昨今の社会情勢も鑑み、虐待防止には積極的に関わってまいります。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束に関する研修は、全体研修の中で定期的に行っています。必要に応じて、身体拘束に関する同意書を取るようにしています。

○ できている

△ どちらでもない

× できない

令和5年3月作成